

第1学年 生活科学学習指導案

1 単元名 「じぶんでできるよ」

2 単元の目標

家庭生活について、調べたり尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人によさ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようになる。

3 本時の学習

(1) 目標

順次処理の方法を活用して、お手伝いの計画を立てる。

(2) プログラミングを取り入れる効果

- ・順序立てて考えていくことで1年生なりに考えが整理され、足りないことや必要なことに気付くことができるようになる。
- ・試行錯誤する、改善するなどの基礎ができれば、自分で考えることに慣れ、考えることが楽しくなり自主的に活動するようになっていく。

(3) 展開

学習活動	・指導上の留意点 (◇評価)
1 前時に確認した仕事の中から、やりたい仕事について出し合う。	・仕事を出し合うことで、活動に対しての意欲を高める。
じぶんがしたいおしごとのおさくせんをかながえよう	
2 自分たちが経験したことの例についての手順を考える。	・順次処理について確認し、思い出させる。 ・自分たちが経験したことを例に出し、思い出しながら手順を考え、見通しを持たせる。 ・短冊にしておくことで、操作をしながら考えられるようにする。
3 自分のしたい仕事についての手順を考える。	・まずは自分で手順を考え、その後、友達と相談をして手順をまとめさせる。 ◇自分のしたい仕事についての手順を考えることができる。
4 本時のまとめをする。	・どんな仕事でも、手順が大切であることを確認する。
5 振り返りをする。	・本時を振り返り、分かったことを書く。

4 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	自分のしたい仕事についての手順を考えることができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	短冊を操作しながら手順を考えることができるようにする。